

学校だより



平安

11月号

あったかハートで Hey!安心!!

読書の楽しさを感じて

学校長 中村 浩子

日中は暑さを感じることもあっても、朝晩は寒さを感じる季節となりました。夏から一気に季節が進み、暑い時期にできなかったことに取り組みやすくなりました。

21日の運動会には、たくさんの方に応援いただき、子どもたちはやり切り、満足している様子うかがえました。放送機器の不調で、子どもたちに最高の発表の場を用意できず、職員一同申し訳ない気持ちでいっぱいです。そんな中でも、子どもの座席からは音楽を歌ってフォローしたり、音楽がなくても演技が続けられたりする姿が見られたのは素晴らしいとの声もいただきました。来年度に向けて、このようなことがないようにしていきます。

さて、11月3日は「はまっこ読書の日」になっています。2010年「国民読書年」を契機として、読書活動活性化・学校図書館活性化をめざして、横浜市教育委員会が11月の第一金曜日を「はまっ子読書の日」と制定しました。本校では、児童の図書委員会が「あきずかん」という台紙を用意し、借りた本の分だけスタンプが貯まるような企画をしています。また、司書の加納先生を中心に「先生のおすすめの本紹介」をしたり、「図書館紹介動画」を流したり、平安小のマスコットの「へいへい」におすすめする本のPOPを作成する「へいへいと読書」を行ったりする予定になっています。

最近、若者の読書離れが心配されていますが、本校の図書館では、多い月で2755冊の本が貸し出され、1か月に47冊の本を借りている子もいます。今年度より、毎週月曜日の時間は朝読書ということで、読書の時間を確保し、本に親しめるようにしています。「はまっこ読書の日」をきっかけに、読書する習慣を少しでも多くの子どもたちに身に付けてほしいと思います。読書の習慣があまりないときは、まずは、ぱぱっと本に目を通すだけでも、読書の習慣を始める大きなきっかけになります。最初から難しい本を読むよりは、自分が興味のある本や読みやすい本から始めてみるようにしたいです。

読書をする人は頭が良い人が多いと言われていています。本の文章を読んでいく中で、上手な言い回しや普段自分が使わないような文章に触れることができるため、自然に文章能力が上がるからだそうです。頭が良くなるために読むことも良いかと思いますが、本を読むことで、自分の知らない世界が広げられたり、気分転換できたりするので、本の世界をただ楽しんでほしいものです。

皆さんは、子どもの頃に読んだ本を覚えていますか？私が子どもの頃に読んでいた本で覚えているのは、「くまのこウーフ」「ふしぎなかぎばあさん」「ズッコケ三人組」です。大人になってから知った絵本や児童書も多くあると思います。ぜひ、ご家庭でも、読んだことのある本やおすすめする本について話題にし、学校の図書館や鶴見図書館などを活用しながら、本の楽しさを味わってほしいと思います。

